

3月6日～7日の本会議では、12名の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。質問と答弁の主な内容を紹介します。(発言順に掲載)  
※ QRコードを読み取ると、録画映像をご覧いただくことができます。



**田井 真一 議員**  
(改革未来・自民の風)



## 大型事業と財政運営 / 加西病院の将来のすがた

### 健全な財政運営は可能か

**問** 数々の大型事業を計画されているが、財政運営は大丈夫か。

**答** (市長) 庁舎附属棟、統合中学校、総合運動公園の整備などの大型事業に伴う費用を見込んで策定した財政収支見通しによれば、今後10年間は健全な財政運営ができていると考えています。財政需要の動向等を見据えながら、その都度見直しを行います。

### 医療体制はようになるのか

**問** 令和6年度の医療体制は。医師が減少する中、外科手術はできるのか。入院診療はさらに縮小するのでは。

**答** 内科は2名減の8名、外科は1名減の1名、泌尿器科は1名減のゼロ、初期研修医は3名減の5名、計7名の減となります。将来のダウンサイジングを前提とした医師の減少であり、近隣の医療機関との連携を図り、できる範囲で医療を提供することとなります。

### 救急医療は維持できるのか

**問** 24時間365日の救急医療体制は堅持できるのか。

**答** (病院事業管理者) 休日・夜間の救急体制は、神戸大学の内科医が半分を占めており、今後も派遣してもらえらることとなっ

ています。内科の初期救急は、24時間体制が可能と考えています。

### 公営のためには

**問** 今後、在宅医療を支える地域包括ケア病床は大変重要となってくるが、それだけでは公営の意義に乏しい。市長は全部適用で運営する方針を出されており、「加西病院の強み・特色」が必要では。

**答** (病院事業管理者) 地域医療構想では、当院は亜急性期、回復期を中心に担うこととなっており、民間による運営も可能と思われます。「優しい病院」「帰ってきたくる病院」を目指したいと思っています。

### ■その他の質問項目

- ・災害に強いまちづくりについて
- ・小中学校再編について



**高橋 佐代子 議員**  
(改革未来・自民の風)



## 高齢者施策の充実について

**問** 「かさいいいきき体操」は、ご当地体操として立ち上げて7年目になり、スペシャルバージョンのDVD作成など意気込みは見えるが、市内で63グループの実施では寂しく感じる。各グループからアンケートを取り、意見や要望を聞いていただきたい。また、より広める提案として、毎週、イオンモールでのラジオ体操の後、イオンの協力で、買い物客も一緒に体操されてはどうか。また、市の4公民館の講座の1コマに入れてもらい、参加者に広めてもらうことを提案したい。

**答** 未実施の町は、どのような体操なのか分からない不安もあるため、様々な機会に体操に触れていただくことは非常によい提案と考えます。

**問** 加齢とともに、体の健康のために口の機能を保つことは大切であり、口腔内を清潔にしなければならない。歯周病が様々な疾患に及ぼす影響も報告されている。兵庫県では令和4年4月に「歯及び口腔の健康づくり推進条例」が制定されている。この取組に対する市の現状を伺いたい。

**答** 市においても口腔ケアの重要性を認識し、通いの場への出前講座や歯科衛生士による講話を開催しています。令和6年度は口腔ケアの普及啓発を実施したいと考えます。

**問** 高齢者の単身世帯や老老介護、8050など、高齢者の抱える課題は複雑かつ多様化している。長寿介護課への相談の現状は。

**答** 高齢者の状況を伺う中で、8050などひきこもりの相談を伺うことが増えています。また、高齢者の独居や二人暮らしなど、家族の支援を受けられないケースも増えている状況です。

### 要望

複雑な課題を抱える家庭への支援では、担当者だけで解決できない場合も多いと考える。管理職として会計年度職員などに任せることなく「卒先垂範」の精神で市民対応に頑張っていただきたい。

### ■その他の質問項目

- ・ごみ減量の取り組みについて
- ・防災放送の整備について